

新年度における新型コロナウイルス感染症対策はどうなっているの？

迅速かつ確実に予防接種を進めるとともに、自宅療養者に対する医療提供体制等を強化する。

ワクチン接種体制の整備及び追加接種の実施	148億5939万円
行政検査実施と保険適用された検査費及び入院医療費の公費負担	19億2198万円
自宅療養者の訪問看護を行う指定訪問介護ステーションへの補助	654万円
自宅療養者の相談対応や食料品等の配送	2億8078万円

子育て世帯への特別給付金に関する要望書により実現！

既に実施している子育て世帯への臨時特別給付について、基準日より後の離婚等によって新たな対象児童の養育者となっているにもかかわらず給付金を受け取れなかった方に対し、給付金を支給します。



道場三室線の整備

大宮バイパス東側については、令和5年度末の供用開始を目指して工事が進められています。西側(栄和工区)については、令和3年11月、権利者を対象に事業認可に関する説明会が開かれました。

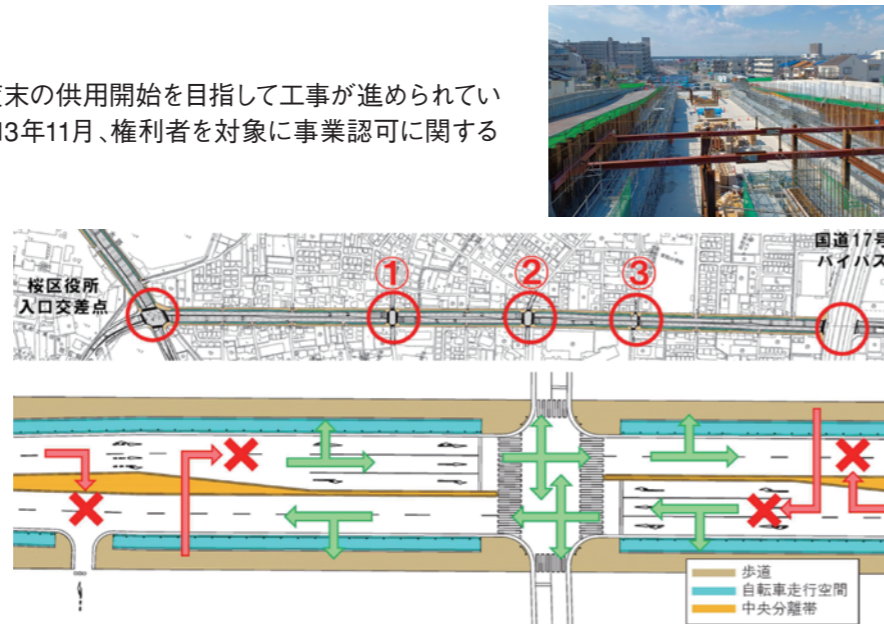
今後のスケジュール

※事業が順調に進められた場合のスケジュールです

令和3年度～測量・設計・建物調査
令和4年度～令和8年度 用地買収
令和7年度～令和9年度 道路工事

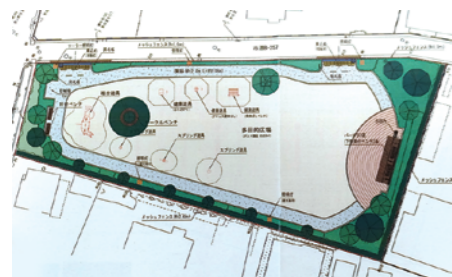
交差点について

交差点は栄和南住宅北西部、サクラディア北西部の2か所を予定しています。栄和小学校南西部は手押し信号を予定しています。



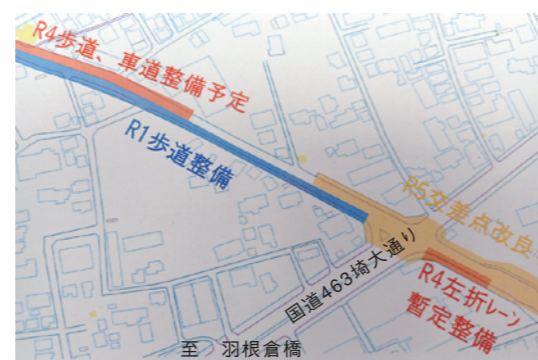
町谷公園の整備

町谷公園の整備については、令和4年度中の供用開始を目指して工事を進めます。



埼玉大通り下大久保交差点の整備

国道463号線(埼玉大通り)と大谷場高木線が交差する下大久保交差点については、桜区役所側から交差点に向けての渋滞が慢性化していますが、今年の夏頃までに左折レーン(オートボックス側)の暫定整備を行います。



定例議会レポート2022.2月定例会

さいたま市議会議員

阪本かつみ

～市民に開かれた議会を目指して～



議会での役職

さいたま市議会 第18代 議長 / 文教常任委員会 委員 / 民主改革さいたま市議団 相談役

さいたま市議会2月定例会は2月1日より3月11日までの39日間の日程で開催されました。

まん延防止等重点措置が実施される中での議会開催となりましたが、感染予防対策を徹底したうえで、令和4年度予算や新型コロナウイルスへの対応、更には、さいたま市誕生以来の課題でもある本庁舎の移転などについて活発に議論が交わされました。

また、議会冒頭2月2日に議長選挙が行われ、私こと阪本克己がさいたま市議会第18代議長に選任されました。

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、市民生活はもとより、議会運営においても大きな影響を及ぼしております。こうしたコロナ禍においても、しっかりと市民のために働き、市民に開かれた議会の実現に向けて活動してまいります。

今回のレポートでは、令和4年度予算や地域課題等についてご報告いたします。ご意見やご要望等ございましたら、お気軽に阪本事務所までご連絡ください。



本会議の議事にあたる阪本



議会・議長の役割とは？

市議会とは？

市議会は、「議決機関」と呼ばれ、市民のご意見・ご要望を市政に反映させるために、予算や条例などの議案を審議し決定します。一方、市長は、「執行機関」と呼ばれ、市議会の決定に基づいて具体的な仕事を進めます。

議長とは？

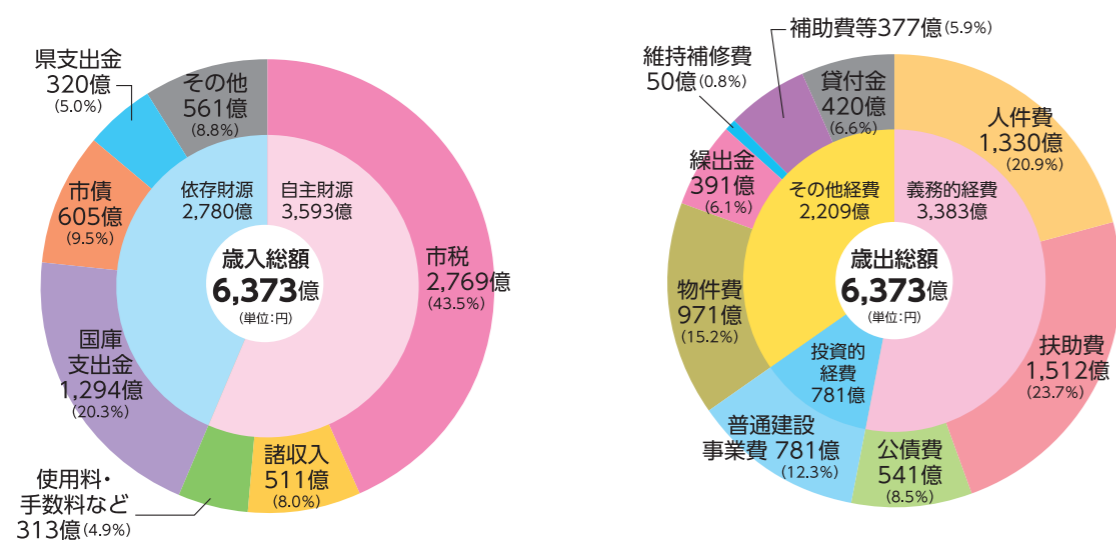
議長は、議員の中から選挙で選ばれ、対外的に市議会を代表するとともに、本会議の主宰者として会議が円滑に運営されるように努め、議場の秩序を保ちます。また、市議会全般の事務を処理します。

過去最大の予算規模となる 令和4年度予算を決定しました。

予算規模

一般会計	6,373億円	前年度比	+255億円	4.2%増
特別会計	3,237億円	前年度比	+48億円	1.5%増
企業会計	1,305億円	前年度比	+56億円	4.5%増
全会計	1兆916億円	前年度比	+359億円	3.4%増

一般会計予算歳入歳出内訳



＜ 令和4年度予算の特徴を教えてください ＞

新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策を強化し、ポストコロナ時代への変化を見据えたまちづくりや市役所のDX化を進めるとともに、誰一人取り残さない包括的な支援の充実を図る予算となっています。

歳入は？

市税は、人口増に伴う納税義務者の増加や個人所得の増加の影響及び企業収益の回復により市民税が増加するとともに、新增築家屋の増加に伴う固定資産の増加により152億円増加しました。国庫・県支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保や障害者自立支援給付等により147億円増加しました。

歳出は？

扶助費は、障害福祉サービスの支給や保育施設等の給付の増加等により88億円増加しました。建設費は、クリーンセンター大崎設備改良工事や学校施設の改修・建替え等により4億円増加しました。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業等に係る経費は、約70億円増加しています。

予算成立までの流れ

9月頃	財政局は、翌年度の予算を作るための方針を定めます。
10月頃	各部局は、翌年度にどんな行政サービスを行うべきかを検討し、予算を見積もります。
1月頃	市長は、各部局から出された案について検討し、最終的な予算案をまとめます。
2月～3月頃	議会は、予算案について審議・議決をして予算として決定します。

市民からの要望を受けて

阪本かつみが提案してきたことが
着実に進められている！



荒川河川敷のスポーツ施設群を活用した スポーツシュレの推進

民間力を最大限に活用した取組として、ICT・スポーツテック・ヘルスケア等の先端的な知見を活用したスポーツ指導や人材育成、スポーツビジネスの創出・活性化事業を実施するとともに、スポーツシュレ拠点施設の整備に向けた調査・検討を進める。



スケボーやBMXなど アーバンスポーツの環境整備

アーバンスポーツの普及に向け、公民連携組織を設立するとともに、体験イベントの開催や身近にアーバンスポーツができる場所を整備する。



民主改革さいたま市議団「令和4年度予算編成並びに 施策に対する提案」等により実現しました！

身近な公共交通の拡充

交通空白地や交通不便地区等の利便性向上を図るため、岩槻区でのAIデマンド交通の分析・検証、桜区等における展開検討を行います。



市立特別支援学校の設置

知的障害児の特別支援学校等に係る教育環境の充実を図るため、ひまわり特別支援学校に知的障害教育部門高等部を設置します。

市立学校におけるオンライン授業 受講者を出席扱いとすること

本市では、指導要録の「出席停止・忌引き等の日数」欄に「オンライン特例授業出席日数」を記載することとしました。

ヤング・ケアラーに対する支援拡充

ケアラーに対する社会的認知度や理解の向上を図りケアラーを社会全体で支える機運を醸成するため、市民、事業者、関係機関等への周知啓発を行います。

不登校等の児童・生徒に対する支援拡充

不登校等児童生徒への相談体制を強化するため、「不登校等児童生徒支援センター（通称：Growth）」を設置し、ICTを活用した学習支援や訪問相談等を実施します。